



ガバナー公式訪問 (2RC 合同)

名古屋マリオットアソシアホテル
16F 「アゼリア」 12:30 ~

第 1189 回

2016年8月24日(水) 雨 第7回

~ 会員増強・新クラブ結成推進月間 ~

齊 唱 君が代、奉仕の理想
 出 席 会員 55 名 (出席率算入人数 39 名)
 出席 28 名 出席率 71.79%
 前々回補填率 95.45% (8月2日分)
 ゲスト 国際ロータリー第 2760 地区
 ガバナー 服部 良男さん
 国際ロータリー第 2760 地区
 地区幹事 岩月 昭佳さん
 国際ロータリー第 2760 地区
 地区事務長 加藤 博巳さん

会長あいさつ

名古屋東南 RC 会長 下郷 卓弥さん

皆さま、こんにちは。この例会に先立ち、ガバナーを囲んで楽しい一時を過ごして参りました。最近のロータリーの情勢、RI、そして日本との関係、先進国と言いますか、アメリカ、イギリス、日本では会員が減っていて、唯一先進国で増えているのはドイツであります。韓国、台湾などもかなり増えています。世界的に減るところと増えるところがかなり分かれてきているという話がありました。



本題に入ります。私が会長エレクトの時に、ロータリーには“Service Not Self”もしくは“Service Above Self”、“He Profits Most Who Serves Best”など標語があるので、我がクラブも標語を作ろうではないかと平和のリングというのを考えました。下の5つはロータリーの中核的価値観で、親睦 (Fellowship)、奉仕 (Service)、多様性 (Diversity)、高潔性 (Integrity)、リーダーシップ (Leadership) となっております。私が考えたのは平和 (Peace) と持続可能 (Sustainable)、そして出席 (Presence) です。

これを図にして、まず出席から入ります。親睦が深まると奉仕活動がしやすい、これがまわっていきだんだんと人間が増えると、多様性という事になります。だんだんと人が増えてきて、色んな人達が増えます。そうすると、ある程度道徳律云々、寛容性といったものを養わなくてはいけなくなります。そこで高潔性という言葉が入って来ます。これは私のクラブでも言っているのですが、それぞれ皆さま会社なり自分の住処に帰れば、皆さまトップの人達ばかりですのでリーダーシップを執らないと組織が崩れます。そして平和に持って行く為には、やはり持続可能でないといけません。持続可能でないものを作ってしまったはいけません。リーダーになる人は、これを常に考えます。

中日新聞に載っていた俳句を紹介します。8月は戦争が終わった月でもありますので平和がテーマになっていますから、これは非常に凄みのある句と言いますか、浜松に住む83歳の女性が書かれた句です。「爆風の友の片腕 今何処」。恐らく空襲に遭ったのでしょう。だいたい当時10歳頃です。友達と一緒に空襲を避ける為、逃げている時に友達が片腕を無くしてしまった。いとうせいこう氏が句に対してコメントをし、金子兜太という方が解説で加わっています。

この方は日本財団の大御所で芸術院の会員です。1919年(昭和8年)に埼玉県で生まれまして、当時の東京帝国大学の経済学部に行かれ、それから日本銀行に入られています。1944年、戦況のかなり悪い時にトラフトという所に恐らく財務を扱う部署で海軍主計中尉として赴任しています。当時は制海権・制空権はありませんので、日本から行くとなると海を行くか空を行くかで違うのですが、よく撃墜若しくは沈没されずに着いたと思います。

当時トラフトに赴任している時に、ノートに日記と平和の俳句を沢山書いています。南方の島で非常に凄惨な事だったと思います。硫黄島やフィリピン島など沢山ありますが、戦争でのひどい経験をされて、それから平和の俳句云々に精通されています。ノートは米軍に接収されてしまうので全部焼いてしまうのですが、俳句は配られる石鹸箱の中に入れて持って帰ってきました。それを俳句の句集にしてという下りが書いてあります。締めとして「戦争は人間の性。8月15日。いつまでも平和な戦後であって欲しいというのが願いです。」金子兜太氏は、自分が経験した凄惨な戦争を、後生に語っていく事に尽きると言われています。ありがとうございました。

幹事 細井 俊男さん

1. 次回8月30日（火）は名古屋熱田RACとの合同例会です。例会時間・場所等は変更ありませんが、今回は指定席となりますので宜しくお願い致します。

ニコボックス

- ◆ 国際ロータリー第2760地区 服部ガバナーをお迎えして

安藤 修さん 田中 一雄さん 中西 芳子さん
 坂田 信子さん 日下智重子さん 久米 伸治さん
 伊藤 圭一さん 犬飼りさ枝さん 森田敏二三さん
 新原 尚さん 三浦 和人さん 大橋さなえさん
 中村 勝さん 宮崎 良一さん 筧 恵理さん
 川辺 清次さん 朝比美和子さん 山本 郁矢さん
 小野 雅之さん 高橋 司さん 吉木 邦男さん

本日合計 32,000 円 累計 377,500 円

ガバナー卓話

国際ロータリー第 2760 地区 ガバナー
 服部 良男さん

皆さま、こんにちは。ただいまご紹介いただきました本年度ガバナーを拝命しております服部良男でございます。本日はこのように大勢の方で合同例会を開いていただきまして大変ありがとうございます。実はガバナー訪問は本日で3回目なのですが、名古屋は初めてで大変楽しみにして参りました。



私は岡崎RCの所属です。昭和64年に入会しましてずっと岡崎RCにいます。ガバナーを拝命して色々な事をしながら、実はこれからは色々なクラブに行けると大変楽しみにしております。先程は懇談会で名古屋東南RCの下郷会長、大竹山幹事、そして名南RCの木下会長、細井幹事と大変楽しく有意義な時間を過ごしてきました。特に下郷会長からは色々なロータリーの事、特に平和のリングも本日も初めて伺いましてありがとうございます。

色々な話をしたいのですが、ガバナーとしての仕事がありますので少しお話しさせていただきます。最初にしなくてはいけないのは今年のRI会長ジョン・F・ジャームさんがどういう方だという事です。アメリカ人としてロータリー歴は40年です。特にポリオプラスインターナショナルの委員長も務められまして、財団ポリオに関して大変功績の高い方でありまして、久しぶりにアメリカ人が会長になったので、私がサンディエゴに行って研修をした時には大変アメリカが盛り上がっていました。特に来年の6月に財団100周年という事でアトランタにて大会を行うので、日本からも沢山来て欲しいと言われております。

是非この2つのRCで皆さま集って来年の6月11日（日）からですが行っていただきたいと思っております。特に今年はこの地区からパストガバナーの斎藤さんがRIの理事になっておりますので、是非宜しくお願いしたいと思います。彼の今年のテーマですが、“Rotary Serving Humanity.”と書いています。

この“Rotary”・“Serving”・“Humanity”の3つがとてもシンプルで、すごいテーマであると思っております。ロータリーというのはサービングする事だと。サービングというのはingですから、サービスではありません。「ロータリアンは毎日奉仕をする、これがロータリアンである」とこういう意味です。“Humanity”は人類と訳されていますが、実は人々にという事で「ロータリアンは必ず毎日、要するに人道的奉仕、困っている人がいたら背を向けずにその人を笑顔にするようにしてください。それがロータリアンです。そしてロータリーはそのロータリアンの仲間と一緒にその笑顔の輪を広げていきます。これがロータリーです。」というテーマで彼は言っているのではないかと。

彼のスピーチもそうでした。彼のサンディエゴでのファイナルスピーチは、「ロータリアンは困っている人がいたら絶対に背を向けない、必ず一緒にになりその人に手を差し伸べてあげてください。」というのがテーマでありました。ご承知のように、先程下郷会長からもありましたが、ロータリーは1,230,000名いますが、先進国でアメリカ・イギリス・オーストラリア・日本もそうですが大変会員が減っております。日本でこの地区だと6,000人いた会員が4,745名となったのは今年のスタートでありました。

この事をRIは何とかなしようとずっとやってきました。その中で、このように人が減った時に企業であれば当然何か戦略を作るわけですね。一番の戦略はブランディングです。自分達の企業が持っている一番の強み、その強みをもう一度企業が認識し、その強みを認識した製品やサービスを作って、そしてお客様に届けようとするのがブランディング戦略です。

RIも同じ事をしました。ロータリーの強みとは何だという話です。RIはこの中で10年間をかけ、強みというのは先程もありましたように1つめが親睦（Fellowship）です。Fellowは仲間だけではなく同じ目的を持った仲間、そしてshipというのはその仲間を続けていく事。

2つめが高潔性（Integrity）です。4つのテストです。要するに自分の仕事をする時だけではなく自分の人生の中でその4つを考え、そして言動あるいは行動してください。これがロータリーの2つめのブランドです。

3つめが多様性（Diversity）であります。182カ国の男女・宗教色々なものがなんと1,200,000人の人達が1つの目的で集まっているこんな会社は世界にはないと思っております。それも111年続いているわけですね。その111年続いた理由がそこにはあるわけですね。

その次に先程もありましたようにリーダーシップ（Leadership）、すなわち地域のリーダーの人が同じ目的で高潔性を持って何かをしようという組織というのは世界にそんなに多くはありません。これがロータリーのブランドであり価値であります。人道的奉仕活動というのは、人が人に何らかの価値を与えていくこれがサービスですが、困った人がいたら、笑顔でない人がいたらその人と一緒に考え、それを解決していく、これが人道的奉仕活動であるとRIは言っています。

今何を言っているのかと言うと、この人道的奉仕活動がだんだん今のロータリーで各RCやロータリアンがなかなか出来ていないのではないかと我々は心

配しています。要するに4つのブランドから奉仕活動をするロータリアンを増やそうと。ロータリアンが増えて奉仕活動が増えると、笑顔で喜んでいる人が増えます。笑顔で喜ぶ事によってロータリアンが自分をロータリアンである事の価値をもう一度見出すと。このプロセスを是非もう一度見直そうというのがRIの考えている戦略です。ですから、5つの価値の中から唯一サービスだけが人に何かを伝えられる奉仕活動でありますので、その奉仕活動を増やしていきたいという事を是非やってくださいというのが、RI会長のジョン・F・ジャームさんの考えている事であると思っています。

では、何をしていたらいいのかという事です。その為にはまずロータリーのブランドすなわち5つの価値をロータリアン全員で共有しましょう。1,200,000人いるわけですから、その為にはどうしたらいいのか。その為に作ったシステムがMy Rotaryというデータベースです。

自分達のクラブのデータを投稿し、他のクラブがどのような事をやっているのかシェアできる仕組みがMy Rotaryです。あの中には、皆さまご承知だと思いますがRIの決算書、RI会長のメッセージ、財団の担当者のメッセージが毎週流れています。3年前まではほとんど英語でしたが、今年から約6~7割が日本語で流れています。ですから、My Rotaryに登録してニュースという所まで行きまして、青少年のニュース、財団のニュースが欲しいと中にはまだ英語のものもありますが、毎週送られてきます。今起こっている他の地区のロータリーの人達がどれだけの奉仕活動をしているのか、あるいはクラブがどういう活動をしているのかが一瞬にして分かる仕組みであります。

もう1つクラブ・セントラルというのもあり、クラブの活動計画と奉仕計画と奉仕の実績がそこに載っています。例えば私は岡崎RCであります。28年ロータリーにいまして同じ分区である豊田東の奉仕活動と社会奉仕活動内容を今まで知りませんでした。IMで時々聞くくらいです。そのくらいロータリーというのは各クラブでクローズになっていて、それが影響しているのではないかと考えて我々はこのMy Rotaryという仕組みを作りました。このMy Rotaryに是非皆さま登録してくださいというのが、私の今年の大きな重点課題であります。

今My Rotaryに登録している人は世界で26%、そして日本では平均12%です。残念ながら日本は12%ですけれども、この第2760地区では始まるまでは9%でした。非常にMy Rotaryに登録している人が少なかったです。理由は色々あると思いますが、1つの理由はこの地区が非常にコンパクトであるという事です。本日お話を聞きましたが、名古屋のRCは非常に和気藹々として親睦がしやすいのと、地区の委員会もガバナー事務所が名古屋の伏見にありますので、非常に集まりやすいです。ですからあまりパソコンでのオンラインなどは必要がないようです。

ところが、東京だと所在地域にグアムがありますし、沖縄もテリトリーです。北海道は2つに分かれています。泊まりがけで行かなくては地区までは行けない。こんな所は既に色々なものに取り組んでいます。例会もスカイプを使ったりして色々進んでいます。世界ではもっと進んでいて、ご承知のよう

にEクラブと言って、ビデオを見てコメントを400字書いてお金を払うと出席となりますが、世界中のEクラブに我々は出席できます。このような色々な対応の中で我々ロータリーというのは変遷してきているわけであり。この事を成し遂げるのは、オンラインを上手く使って行く事で、ロータリーがもう一度我々のブランドを知って、そのブランドを使って奉仕活動を増やしましょうというのがRIのテーマです。

では会員の増強は2割も減っているのにどうするのか。まずはロータリアンが奉仕活動をして人を笑顔にする事により、自分も笑顔にするという事を増やしていくのが1つです。その為にMy Rotaryやクラブ・セントラルを使おうと。もう1つはこんなに良い事を100年間も続けているのに、今まであまりロータリーは地域に知らせる方法がなかったのです。「ロータリーの友」がありますが、ロータリアンだけの広報誌なのでなかなかそれが伝わりません。何をしているかと言うと、ソーシャルメディア、フェイスブックなどを使って、我々のブランド、そのブランドから発生する人道的奉仕、人道的奉仕から出る人の笑顔、その笑顔が返ってきてロータリアンが笑顔になる。この事を一般の方達にも知ってもらおうというのが、ソーシャルメディアを使った公共イメージ向上という1つのプロセスであります。

RIの戦略計画を見てくださいと分かるように、項目は3つです。1つ目は人道的奉仕活動を増やす。2つ目は各クラブの人道的奉仕活動の活性化。3つ目はロータリーの認知度の向上。これはMy Rotaryとクラブ・セントラルで情報を共有しましょう。最後に公共イメージを向上しましょう。それを聞いた上で、私は今年の方針を“Be The Rotarian, Find a Rotarian”、「真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう」としました。即ち自分自身が本当に日常のロータリー活動、あるいは職場や色々な所でロータリーのブランド、価値、高潔性、リーダーシップを持って、多様性=寛容さが必要で寛容さを持って仕事・ロータリーの奉仕をし、社会奉仕・国際奉仕をした姿を皆に見せましょうと。そして見せて、私もそういう事がしたいなという人、若いローターアクトの方やインターアクトの方もいますが、その人達に入ってもらおうと。Find a Rotarianというのは自分がしないでロータリーにはいられませんから、自分がする事によって魅力を感じた人に入ってもらおうというのが私の方針です。

基本的にはRIの戦略と全く同じ事をその時に感じて決めさせていただきました。その事をこの地区でやるにあたり、2つお願いがあります。1つはMy Rotaryの登録があまりにも少なすぎます。実は今日付でデータを見ましたら、9%だったのが12.4%で602名位入ったという形で、皆さまの努力で少し増えておりました。クラブ・セントラルはほとんど登録が出来ておりません。是非そちらもやっていただきたいと思います。本日はお見せできませんが、地区のHPも変えております。私のガバナー活動も一両日中に載せておりますし、フェイスブックも作りました。是非一度アクセスしていただいて、どんな事をやるのか、どのようにそれをやっていくのかとご理解いただきたいと思います。

1つだけ目標数値を作りました。これはRI会長賞と同じですが、My Rotaryの登録率は各クラブで50%以上。一番言いたいのは、入会3年以内のMy Rotaryの登録100%というのを今年のテーマに上げさせていただきます。もう1つ、直接それをシニアロータリアンや会長や幹事に言ってもなかなか難しいでしょうから、クラブの中で1人My Rotaryを推進していく人を是非作ってくださいとお願いします。ここの2つのクラブは、1人ずつ出させていただきました。これからその方達と公共イメージ向上委員会という新しくITと広報をつないだ委員会の中で、サポートしてもらいます。この2つのクラブの中で、My Rotaryの登録が出来て、My Rotaryから新たな財団への色んな情報が来る事、ロータリーのブランドや我々の強みをもっと知っていく事で、世界で活躍しているロータリアンのケースを見て我々もこの各クラブで人を笑顔にしていく事、新しい事を是非やっていきたいと思えます。

地区の委員会にも申し上げました。是非地区の委員会が活動するのではなく、地区の委員会は各クラブの委員会が本当の奉仕活動が出来るよう支援をしていただきたいと思えます。地区の委員会は支援をするだけでいいのです。そのことが今回の大きなテーマであります。

もう1つ最後に、財団100周年という事で、財団はロータリーとRIとの2つの組織がありますが、どんな良い事も、どんな素晴らしい事も先程下郷会長が言われたように持続可能にしなければなりません。持続可能にする為には、必ず資金が必要となります。資金というのは普通のビジネスでは人を笑顔にした後、笑顔になった人から対価をいただきます。そして公共、市や県は税金で良い事をするわけです。公益というのは学校や幼稚園などありますが、半分が税金、補助金です。半分をお客様からいただきます。目的は全て笑顔にする事です。

ではロータリーを持続可能にするにはどうすればいいのか。会費と寄付しかありません。財団が100周年となって、色んな事をしながら財団をもう一度活性化して、各RCの人道奉仕をもう一度活性化する事がRIの戦略計画であり、その為に使うのがMy Rotary、クラブ・セントラルそしてソーシャルメディアです。この地区では私の代、そして次の神野さん、村井さんへと3年間位でRIのことをこの地区でやりながら、目的は各クラブの汗を流して人を笑顔にする活動の数や時間を増やしていくということです。

是非それをご理解いただきましてご協力をいただきたいのと、1年間地区を一生懸命頑張りますので、この2つのRCが笑顔で奉仕活動をして、楽しい1年である事を心から祈念して、簡単ではありますがこれで卓話とさせていただきます。本当にありがとうございました。



第 1191 回例会 (9月10日) のご案内

地区補助金事業